

中小企業のSDGs推進に 関する実態調査(2024年) (アンケート調査)

2024.7.31
(独) 中小企業基盤整備機構 広報・情報戦略統括室 総合情報戦略課



【調査結果のポイント】

- ・SDGsを十分に理解・やや理解している企業は42.4%。これまで実施した計3回の調査を通じて着実に(3.6ポイント)上昇。
- ・SDGsの取組企業・取組予定企業は34.6%と、毎年着実に上昇も、今後も取り組む予定のない企業も3割存在。
- ・SDGsの取組企業・取組予定企業の進捗状況は、「SDGsに対する理解を進めている段階」(36.4%)が最多。
- ・補助金・助成金、SDGs推進指針の策定・公表、SDGs取組事例の公表などの支援ニーズが高い。

※前回調査結果(2023年3月公表) URL: https://www.smrj.go.jp/research_case/questionnaire/index.html

(1) 調査概要

- ・調査日時: 2024年3月7日~11日
- ・調査方法: Webアンケート
- ・調査対象: 全国の中小企業者 2,000
(中小企業基本法における中小・小規模企業の定義に基づく)

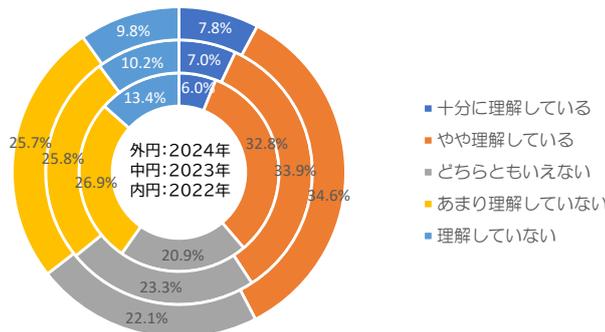
図表1 調査対象業種の構成比 ()内は小規模企業数

| 全産業(合計) | | 回答企業数/構成比 | |
|---------|-------|--------------|--------|
| | | 2,000(1,595) | 100.0% |
| 製造業 | | 1,000(750) | 50.0% |
| 非製造業 | 建設業 | 200(180) | 10.0% |
| | 卸売業 | 200(133) | 10.0% |
| | 小売業 | 300(277) | 15.0% |
| | 情報通信 | 100(78) | 5.0% |
| | サービス業 | 100(87) | 5.0% |
| | その他 | 100(90) | 5.0% |

(2) SDGsに対する理解度はこれまでの3年間の調査を通じて着実に上昇

SDGsについて理解している(「十分に理解している」「やや理解している」)は42.4%で、前回調査の40.9%、前々回調査の38.8%から着実に増加。SDGsに対する理解が高まりつつあることがわかる。(図表2)

図表2 SDGsに対する理解度 対前年比較 (n=2,000)



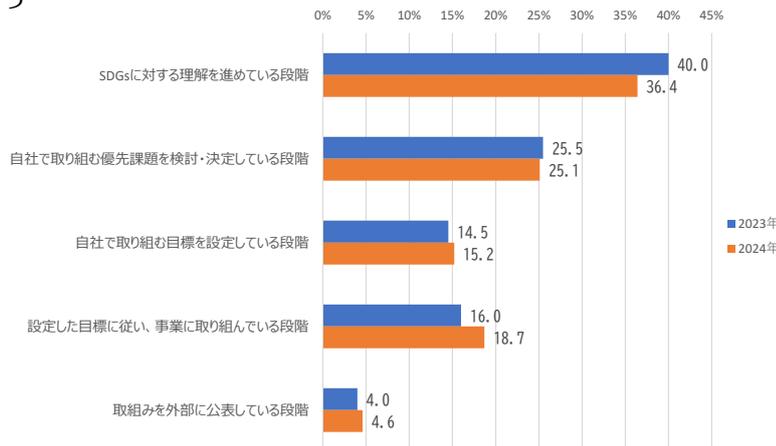
(3) SDGsの取組・予定企業は着実に増加するも、今後も取り組む予定がないとする企業も3割存在

SDGsの取組状況について、「現在すでに取り組んでいる」(17.0%)と「現在は取り組んでいないが、今後は取り組んでいく予定」(17.6%)の合計は34.6%となり、前回調査の33.8%、前々回調査の30.6%と着実に増加している。一方、「現在は取り組んでおらず、今後も取り組む予定はない」は、依然として3割(30.0%)となっている。

(4) SDGsの取組企業・取組予定企業の進捗状況は、「SDGsに対する理解を進めている段階」が36.4%で最多

「現在すでに取り組んでいる」「現在は取り組んでいないが、今後は取り組んでいく予定」の企業におけるSDGsの進捗状況は、「SDGsに対する理解を進めている段階」(36.4%)が最も多く、次いで「自社で取組む優先課題を検討・決定している段階」(25.1%)となっている。「設定した目標に従い、事業に取り組んでいる段階」「取組みを外部に公表している段階」の企業は昨年よりも増加しており、取組が進捗している。(図表3)

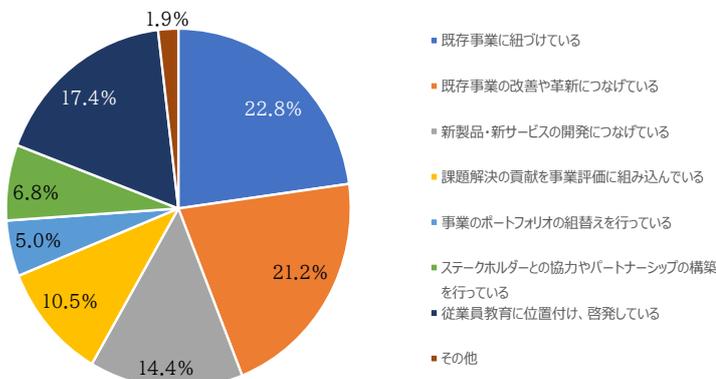
図表3 SDGsの取組みにみる進捗状況 (n=690 単一回答)



(5)SDGsが様々な視点からビジネスに活用されている

「既存事業に紐づけている」(22.8%)、「既存事業の改善や革新につなげている」(21.2%)という回答のほか、「新製品・新サービスの開発につなげている」(14.4%)、「従業員教育に位置づけ、啓発している」(17.4%)など、様々な視点からSDGsをビジネスに活用している。(図表4)

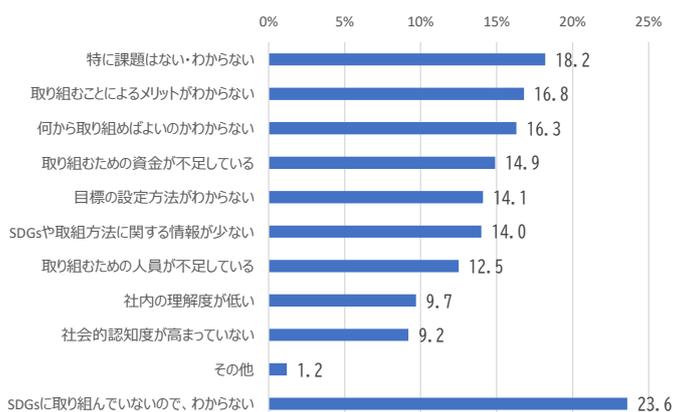
図表4 SDGsをビジネスへ取り組み内容(n=690 単一回答)



(6)SDGsの取組に向けた課題は、多岐にわたる

SDGsの取組に向けた課題としては、「特に課題はない・わからない」(18.2%)、「取り組むことによるメリットがわからない」(16.8%)、「何から取り組めばいいのかわからない」(16.3%)といった全般的な課題のほか、「取り組むための資金が不足している」(14.9%)、「目標の設定方法がわからない」(14.1%)、「SDGsや取組方法に関する情報が少ない」(14.0%)、「取り組むための人員が不足している」(12.5%)など、多岐にわたっている。(図表5)

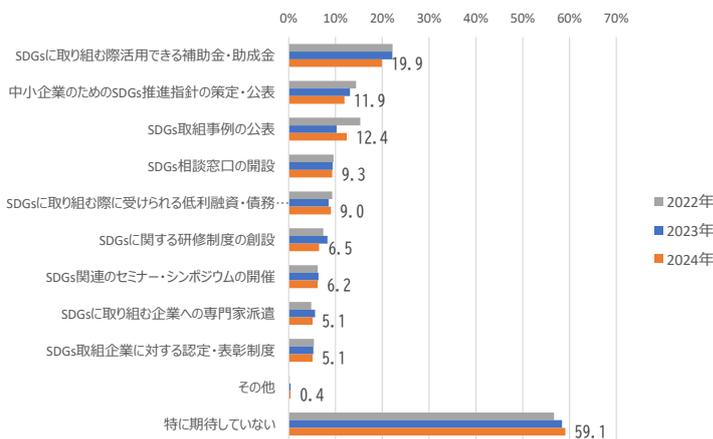
図表5 SDGsの取組に向けた課題 (n=2,000 複数回答)



(7)補助金・助成金、SDGs推進指針の策定・公表、SDGs取組事例の公表などの支援ニーズが高い

SDGsの推進に向けて期待する支援策は、「特に期待していない」が59.1%と約6割を占める一方、「SDGsに取り組む際活用できる補助金・助成金」(19.9%)、「中小企業のためのSDGs推進指針の策定・公表」(11.9%)、「SDGs取組事例の公表」(12.4%)などが、高い割合を占めている。(図表6)

図表6 SDGsの推進に向けて期待する支援策 (n=2,000 複数回答)



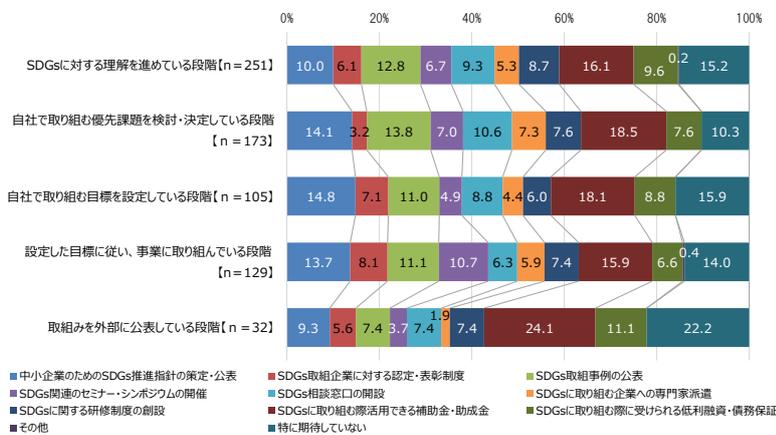
SDGs推進に向けて期待する支援策について、進捗段階ごとの違いを見ると、「公表段階の企業」においては、「SDGsに取り組む際活用できる補助金・助成金」(24.1%)や「SDGsに取り組む際に受けられる低利融資・債務保証」(11.1%)のニーズが、他の企業グループと比べて相対的に高い。

それ以前の段階の企業では、「中小企業のためのSDGs推進指針の策定・公表」、「SDGs取組企業に対する認定・表彰制度」や、「SDGs取組事例の公表」、「SDGs相談窓口の開設」、「SDGsに取り組む企業への専門家派遣」といった、SDGsに取り組むための情報や助言のニーズが高い。

このように、企業のSDGsに対する取り組みの進捗段階によって支援策に対するニーズが異なることから、これに対応し、きめ細かい支援を行っていくことが望まれる。(図表7)

図表7 進捗段階別の期待する支援策 (n=690 複数回答)

※下記のグラフは、進捗段階ごとの回答総数に対する割合



(8)まとめ

SDGsに取り組んでおらず、今後も取り組む予定がないとする企業が一定数において存在している。こうした企業がSDGsに関心を持ち、取り組みを進めてもらうために、SDGsへの理解をより一層深める施策を展開する必要がある。

一方で、SDGsに取り組んでいる、あるいは今後取り組む予定の企業は着実に増加している。今後SDGsへの取組を一層進めるために、進捗段階に応じた支援策を講じていく必要がある。

独立行政法人中小企業基盤整備機構 総合情報戦略課

担当 : 吉見、清山、山口

TEL : 03-5470-1521 (部門代表)

Email : chosa@smrj.go.jp